

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	3D volumetry を用いた dual-energy CT での体脂肪と膵臓の CT 画像との関連性の検討		
② 実施予定期間	実施許可日から 2027 年 3 月 31 日		
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院の対象診療科で Dual-energy 腹部ダイナミック造影 CT 検査を施行された患者さん		
④ 対象期間	2021 年 5 月 1 日 から 2022 年 10 月 31 日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	第 1 内科、第 3 内科、第 1 外科、第 2 外科、産婦人科、放射線科		
⑦ 研究責任者	氏名	伊東 克能	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	識別コード、年齢、性別、現病歴、既往歴、血液検査（ヘマトクリット、HbA1c）、腹部 CT 画像の解析結果（膵臓の体積、CT 値、脂肪分画、造影後のヨード量、細胞外液量、内臓脂肪、皮下脂肪、大動脈の CT 値）		
⑨ 研究の概要	<p>CTで脂肪はマイナスのCT値をとるため、内臓脂肪を測定してメタボリックシンドロームの評価に用いられます。膵臓の脂肪蓄積においては肥満や糖尿病との関連が報告されています。しかし、膵臓の脂肪蓄積の程度をCTで測定して、その関連性を評価した報告はまだ少ないです。一方で、臓器の脂肪沈着と血行動態を反映したダイナミック造影の増強パターンには関連性があると考えられています。近年技術が進歩したdual-energy CTでは、管電圧の異なる2種類のX線で撮影することにより、造影CTでのヨードマップを作成し、造影効果（造影後のヨード量）を定量的に評価できるようになりました。</p> <p>本研究の目的は、dual-energy CTを用いて得られた膵臓の体積、CT値、脂肪分画、造影効果（造影後のヨード量）が、体脂肪量（内臓脂肪や皮下脂肪）と関連しているかどうかを検討することです。体脂肪と膵臓のCT造影効果との関連性を明らかにすることは、膵臓の病態生理や肥満が画像診断に及ぼす影響を考える上で重要な基盤となり得ます。</p>		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2024 年 3 月 12 日	

⑪ 研究計画書等の 閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。なお、当該研究で使用するCTや解析ソフトのシーメンス社や富士フイルム社からの寄付金の受け入れはありません。		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：田辺昌寛		
	電話	0836-22-2285	FAX 0836-22-2285